

伝言板

下記の企画は、カタロレンタルリビングにて開催致します。

Chubbies Angel (ちゅびーエンジェル) アクセサリークラス

各クラス：2～6名(予約制)

日時：12月1日(月) 10:00～12:30
 内容：①かぎ針で編むシルバージュエリー
 ②針と糸で編むビーズジュエリー
 お好きなものをお選び下さい。
 料金：1回1,000円(別途材料費等 お問合せ下さい)

ポーセラートクラス

日時：12月8日(月) 10:00～12:30
 内容：小皿など
 料金：1回1,000円(別途材料費等 お問合せ下さい)

※詳細につきましては、下記までご連絡をお願い致します。
 ※ご見学の場合もご連絡下さい。

お問合せ・お申込み：太田 0297-65-1552
 URL: <http://www2.odn.ne.jp/chubbies-angel/>

ビーズ・アクセサリー C-コレクション (ちりちり工房)

冬の展示即売会

恒例

日時：12月12日(金)
 10:15～16:00

これからクリスマス 忘年会、お正月
 etc...おしゃれの楽しい季節に今年も
 また、たくさんのビーズアクセサリーを
 そろえて皆様のお越しをお待ちしております。



お問合せ・お申込み：いずみ 0297-66-9446

プリザーブドフラワー シェリー

プリザーブド&アロマコラボレッスン
 日時 12月13日(土) 13:00～15:00
 料金 3800円

クリスマスアレンジ作成後、お好きな精油を混ぜてア
 ロマハンドクリームを作ります。ハーブティもどうぞ
 クリスマスリース

日時 12月14日(日) 10:00～12:00
 料金 3000円

プリザーブドのリース・お花の色は選べます
 カルチャー(迎春アレンジ)・シーズン(お正月アレンジ)

日時 12月20日(土) 13:00～15:00
 12月21日(日) 10:00～12:00

★全て数量限定!! お早めにお申込み下さい。

お問合せ・お申込み：片岡 090-7267-4498
 HP: <http://p-f-cherie.petit.cc/>

韓国語講座

日時：12月1日(月)・15日(月)
 初心者クラス 10:00～11:20
 会話クラス 11:40～13:00
 会費：3500円(月)

初心者クラス：全く初めての方を対象としたやさしい
 会話を習うクラスです。
 会話クラス：韓国語検定4・3級程度の韓国語が
 出来る方を対象とした会話クラスです。
 クラスはすべて韓国語で進めます。

講師 邊 美仙 (韓国 ソウル出身)

ソウルにて誠信女子大を卒業後、
 筑波大学の大学院修士課程を修了卒業

お問合せ・お申込み：篠崎 080-5543-7489

カタロ通信

Vol. 130
 2008年12月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

㈱北澤工務店

301-0855
 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
 TEL: 0297-60-1333
 FAX: 0297-60-1311
 e-mail: info@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号

カタロ

301-0855
 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
 TEL: 0297-60-1666
 閉館日：水曜日
 e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くう~

301-0855
 龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
 TEL: 0297-63-0730
 定休日：水曜日
 e-mail: kuu@e-kitazawa.com

宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号



「空~くう~」一周年コンサートを開催致しました。
 (コクーンのお二人です)

コクーンのお二人は、12月2日(火)日本テレビ
 『誰も知らない泣ける歌』に出演されました!

第8回 カタロ市の日が開催されました!



11/24(月)出店数2
 3店舗!午後から雨となり
 ましたが来場者350人と
 いう大勢の方をお招きす
 ることができました。
 たくさんの方の笑顔に出
 会えました。
 本当にありがとうございました。



北澤工務店&空~くう~は...

★ 12月12日(金)、13日(土)『完成現場見学会』を
 開催致します。

～年末年始の休暇のお知らせ～

12月30日(火)～1月7日(水) 北澤工務店

12月30日(火)～1月8日(木) 甘味Café空~くう~

完成現場見学会 開催致します！



Y様邸

一 間取り

日当たりと風通しの良い間取りを目指しました。玄関よりも和室やリビングからの出入りが多くなることを想定し、ウッドデッキを設けました。食品庫→キッチン→洗面所→浴室を直線動線として、使い勝手の良い水周りを目指しました。また、造り付けの収納を数多く設置しています。

2階の寝室は当面の使い勝手を考慮して、洋間の寝室と和室を間仕切りせずに一部屋としました。ロフトのある部屋は、高さが1400mmですが、構造材を見せて広く感じる工夫をしました。

構造材を見せる造り、そしてその構造材とシックのコントラストが素晴らしいです。
～このシックは特別なシックで、一見の価値があります！～

現場監督(北澤社長)から

私の母の生まれ故郷という事もあり、特別な思い入れで仕事をさせていただきました。間取り、仕様、仕上り共、どなたにご覧頂いても恥ずかしくない、自慢のY様邸が完成しました。どうぞ、お誘い合わせの上、見学会にお越しください。



日時：12月12日(金)
13日(土)
10:30～15:30



～おさむのひとりごと～

12月になりました。辺りはすっかりベージュ色の冬支度を整え、季節の移ろいを楽しませてくれています。いかがお過ごしですか。風邪などひいておられませんか。

11月は盛りだくさんの一ヶ月でした。

《コクーンコンサート》

『11月20日に土浦に行くから、空～くう～でミニコンサートをやって、その後おいしいお酒でも飲もうよ』との会話から、突然決まった今や人気者のコクーンコンサート。ちょうど空～くう～も一周年。この一年お世話になった方々をお招きしよう、ということで60名の方々にお集まりいただきました。

参加していただいた方は、皆、感じていただけたはず。『人生って、いろいろあるよね』『わたしは、わたしらしく生きていいんだよね』『ほんとうに大切なことを忘れていたよ』・・・

狭い会場は、そのあふれる感情でいっぱいになりました。妻とふたりあいさつで前に立ったとき、そのあたたかな視線に包まれたぼくたちは、言葉につまりました。言葉にならないんです。ぼくたちは支えられている。これでいいんだ、って。

1時間予定のミニコンサートが1時間38分のフルコンサートに・・・またぜひコクーンを呼びたいな。。そのコクーンのCDや歌詞集が空～くう～に置いてありますので、ぜひお求めください。



《市の日》

11月24日には『第8回 市の日』が開催されました。お天気に左右されやすい企画。予報は午後から雨。

寒くなることが予想されたので急きょ『なんちゃってミネストローネ』を200人前作り、職人には焼きそば200食、フランクフルト100本を担当してもらいました。

出店者は、例年よりも多い、23店舗!!!カタロに所狭しと作品たちは並べられました。

10時の始まりには、すでに行列ができていました。そして午前中で300人に迫る来場者。午後からは予報どおり雨が降ったものの、4時の終了時には350人という大勢のお客様をお招きすることができました。

素敵なお作品に出会った皆さん、ほんと、笑顔なんですよ。すてきな笑顔。

ぼくの仕事は家をつくること。でも、建てたら終わりじゃなくって、もっともっと深くつながりたい。もっともっといっしょに笑い、いっしょに涙したい。これからも北澤工務店を見ていてください。

《ヒマラヤのお話の続き・・・》

話はガラリと変わります。

翼は飛び立ちました。ヒマラヤの地に向けて。この旅は、間違っていたのだろうか。ほんとうにこれでいいのだろうか・・・。水平線に浮かぶ雲を見つめながら、社員の顔が浮かぶ。家族の顔が浮かぶ。。思考はめぐります。でも、始まったのです。

余談ですが、飛行機って、追い風では離陸できないんですよ。紙飛行機も、ラジコンも、グライダーも、ジャンボジェット機も、戦闘機も・・・、みんな向かい風に向かって飛び立つ。追い風では飛び立てないんだ。

人生も同じかもね。順風で追い風の時には、そこから抜け出せないものだ。飛び立てない。逆境にあつて、苦難があつて、悲しみや問題という向かい風があるからこそ飛び立てるのかもしれないね。

さらに、飛行機の事故って致命的なんだけれども、『離陸3分着陸8分』で言われるんだ。そこに致命的事故が集中している。巡航フライトの時には事故は起きにくいものなんだ。

これも人生を比喩している気がしますよね。

さてさて、ぼくは飛行機をバンコクで乗り換え、無事ネパールカトマンズ空港に到着しました。茶色の世界です。そこは、文明社会から来たツーリストにとって、驚きの連続の地です。学生時代、ぼくが旅してきた地は、いつも茶色の世界だった。ぼくの血が騒ぐんだ。



ガタガタ道を行き交うおんぼろ車。鳴り続けるクラクション。自転車車を改良したリキシャ。堂々と道を横断する牛、相当な重さである荷物を頭に載せて歩く人々。土埃の中を通りがかるとじっとぼくを見つめている人々。『ナマステ』と言えば、真っ白な歯を見せてニコリ『ナマステ』と返ってくる。



あの喧騒、あの空気、あの風、あのエネルギー。ぼくの魂が喜んでるのがわかる。顔もゆがみっぱなし・・・。

《ボカラへ》



この日カトマンズは、ネパール最大のお祭り『ダサイン』のクライマックスの日。どこもかしこもお休みです。みんな田舎に帰って家族で過ごすのだそうです。想像していたよりも立派なホテルに泊まり、翌朝ガイドのフルさんとポーターのダネさんが迎えに来てくれました。

日本語ができるフルさんは公認のガイドでいつもニコニコしているのですが、ダネさんはとってもシャイ。実はフルさんの弟で、現在学生さんなのだと言う。

現地のツーリストエージェンツからは、トレッキングの基点となるボカラまで飛行機の利用を勧められたのだが、『ゴトゴトガタガタ』いながら村々を通過してゆくバスで行くことにしました。7時間の行程です。

絶対にガイドなしではわかんないよ！と思えるような場所に、ボカラ行きのバス停がありました。荷物を積み込み、いざ乗車。乗ってみると現地人のほか、西洋人が多く乗っていました。

ネパールの首都であるカトマンズから少し走ると、車窓から眺める景色は遺伝子なのか魂なのかわかりませんが、ぼくのおなかの奥底にある懐かしい記憶が広がっていました。

走り回る子供たち。牛や羊やヤギ、ニワトリに犬や猫。そして遠くに目を向けると神々の座と呼ばれるヒマラヤの峰々がぼくを誘うのです。それはまるでスクリーンの中を旅しているような感覚です。

でもスクリーンと明らかに違うのは、その匂いであり、その振動であり、そこに感じるエネルギーであり、人とのふれあいです。

途中昼食をとり、またガタゴトとバスは走り出し、予定通りボカラに到着しました。でもこのときも思ったんです。こんなところに降ろされたって、ガイドがいなかったら、どこに行っているかわかんないよ！！！！と。



《ボカラからフェディへ》

ボカラは、フェワ湖という大きな湖がある小さな町です。トレッキングの拠点として、多くのツーリストでにぎわいます。フランス人を始めとするヨーロッパ人が最も多く、次いでインド人、韓国人、中国人、そして日本人という感じでしょうか。日本語メニューのレストランがあったり、日本語で話しかけられたりすることもありました。

フェワ湖には、ボカラの象徴マチャブチャレ(6993)の姿が映し出されます。ちょうどスイスのマッターホルンのような存在です。マチャブチャレ、その、剣の様にそびえたつヒマラヤの秀峰は『ホーリーマウンテン(霊峰)』として、いまでも登頂が禁止されているそうです。朝目を覚ますと、その秀峰が圧倒的な存在感でぼくを迎えてくれました。これからあの山の近くまで行くんだ。



これから10日間のトレッキングの始まりです。行程は往復約180km。さてさてどんなハプニングが待ち受けているのやら。。

と、ここまで書いてきて思うのですが、会社はどうだろうか。家族はどうしているだろう。お客様に迷惑がかかっていないだろうか。PTAも大変なはず。。とは、もちろん時々は思い出すものの、目の前に現れるドラマにところが完全に奪われていたことがわかります。今さらながら、社員に、家族に、仲間、感謝です。

《あとがき》

カタロ通信の郵送を停止させていただいて3ヶ月が経ちました。『楽しみにしていたのよ』と、たくさん声をかけていただいています。お葉書やお手紙、FAXも頂戴しました。ほんとうにありがとうございます。いつも一方通行のカタロ通信ですが、こうして支えられていることがうれしくてうれしくて。

いつかまた、再開できるようにがんばります。

